



国際ロータリー 第2780地区 第9グループ 湯河原ロータリークラブ 週報



イマジン
ロータリー

2023年1月13日(金) 第2904回例会 形式:対面 天候:晴れ

合唱:君が代、奉仕の理想、四つのテスト

会長 青木 義美 幹事 室伏 学

事務所:神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会

TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716 例会場:ニューウェルシティ湯河原 例会日:毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

青木 義美

先週は新年懇親会ご苦労様でした。特に石川親睦委員長は体調不良にもかかわらず、恒例のプレゼントの準備有難うございました。二次会は、私は翌日3時出発のスキーの予定の為失礼しましたが、芸者さんも久々のお座敷で喜んでおりました。よそのクラブの皆さんに「我々クラブはどの食事会も必ず芸者さんかコンパニオンを入れますよ」と言うとうらやましがりますが、ガバナー公式訪問だって芸者入れますから、と言うと驚きの何者でもありません。温泉町の芸者文化は大切にしたいと思っております。

さて新年を迎えて私が気になった事があります。それは岸田総理も小池東京都知事も今年の抱負の中に少子化問題を取り上げている事です。

我々1950年生まれば第一次ベビーブームと言われ、1年間に約270万人生まれております。これは太平洋戦争から戻った人たちがやっと落ち着いて家庭作りに没頭出来たからだ、と言われてます。そして我々世帯の親が1970年代に第二次ベビーブーム(団塊ジュニアと言われ)で210万人の子供を作っております。それが2020年にはコロナの影響もあり、出生数は80万人にも減ってしまいました。経済というのは多くの人たちが買うものを使うものを中心に作りますから、我々世帯がターゲットになり経済を動かしていたと言っても過言ではないと思います。私たちが今年年賀状をやめ外出をやめ人と会うことをやめてゆくと、当然経済は回らなくなってゆきます。年金も若い人たちがそれなりの年齢になったらいくらもらえるのでしょうか？旅館のオーナーがメンバーにも大勢いらっしゃいますが、満館と言っても人手不足で満室に出来ないのが現状ではないでしょうか。

私の年齢で子作りは無理としても、少子化対策を行政にも訴え、せめて身の周りでは孫の世話くらいしてあげなければと思っております。

私の今年の年賀状に結婚26年目を迎えましたと書いたら「エ？青木さん再婚だったんだ」と言われてしまいました。おかげさまで孫はあっちこっちに9人もいますが、全員にスキーを教えました。その最後の5才の孫が先週一緒に行ってほぼ中級まで滑れるようになりました。

再婚は余談にしても、ロータリーの皆さんで安心出来る家庭作りを応援してゆきたいと思っております。

出席報告

会員	23 名	出席率	80.95 %
欠席	6 名	前回の修正出席率	71.43 %
(免除者)	2 名	前々回の修正出席率	85.71 %
ゲスト	1 名	事前メイクアップ	0 名
ビジター	0 名		

ゲスト 宮下陸史 様(湯河原町観光課長)

幹事報告

ガバナーより

1.ロータリー奨学生帰国報告会のご案内

日時:2023年2月18日(土)

13:30 ~ 受付

14:00~15:30 奨学生帰国報告会

15:40~17:00 懇親会

報告者:

2020-21 年度ロータリー奨学生 岡山夏生(海老名 櫻 RC 推薦)パリ政治学院留学

2021-22 年度ロータリー奨学生 小林拓海(海老名 RC 推薦)King's College London 留学

場所:第一相澤ビル 6 階「会議室」 / Zoom 会議室(後日お知らせいたします。)

参加費:会場 2000 円 /Zoom 無料

2.1月のロータリーレート 1ドル132円

3.下半期人頭分担金送金依頼

地区資金の内訳

a.本会計下半期分7,850円(年額 15,700 円)・・・米山記念館維持費を含む

b.事業会計下半期分2,900円(年額 5,800 円)・・・新世代助成費今期は実施せず

ご送金は、2023年1月中にお願いいたします。

4.次年度「地区便覧」作成のためのアンケートをお送りいたします。2月15日(水)までにご提出いただけますようお願い申し上げます。

5. 第2回新会員の集い開催のご案内

日時:2月18日(土)17時30分~20時30分

場所:藤沢ミナパーク6階多目的ホール

参加費:5,000円(クラブ単位でお振込み願います。)

締め切り:2月10日(金)。

連絡事項 なし

スマイル Box

ご夫人誕生日 高杉尚男君(登美子様・11/19)

入会記念日 伊藤伸之君(38年・S60.1.18)

安江仁孝君

来る1/27、青木会長、室伏幹事のお導きのもと、不肖、私、安江の結婚を祝う会を企画していただきました。皆様との楽しい時間を妻も楽しみにしております。皆様におかれましては、ご多用と存じますがご参加いただけますと幸いです。よろしくお願いたします。

高杉尚男君

昨年末、熱海市西山町にて建築を請け負っていた保育園の工事が完了し、許可を得て無事引き渡しさせていただきました。パングの森保育園という可愛い認可保育園です。

安江仁孝君

ビンゴ、ギリギリで当たりました。

平間章弘君

ビンゴで当選しました。

伊藤伸之君

ビンゴで初めて1番になりました。

年初例会なので全員でスマイル。

卓話 望月 博文 君

代講 湯河原町観光課長 宮下 睦史 様

皆様こんにちは。今回は万葉公園内にあります茶室「万葉亭」についてお話させていただきます。

1. 茶室「万葉亭」の概要

所 在:神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566

建 設 年:1955(昭和30)年

構造規模:木造平屋建て

延床面積:37.26㎡

万葉公園は、湯河原町が万葉集の中に唯一詠まれた温泉地名であることに因んで計画された公園ですが、茶室「万葉亭」は昭和30年に国文学者佐佐木信綱と建築家・堀口捨己の意見をもとにして、万葉公園内に「万葉館」と共に建築されたものです。なお「万葉館」は昭和58年、観光会館の増築に伴い、惜しまれながら取り壊され、現在は茶室「万葉亭」のみが現存しています。

2. 堀口捨己について

堀口捨己(ほりぐち・すてみ、1895~1984)は岐阜県生まれの建築家、研究者、茶人として知られた人物です。東京大学建築学科および同大学院近代建築史専攻にて学び、分離派建築運動を起こしました。その後、欧州留学を経て本格的に設計活動を開始し、数寄屋造・茶室建築の巨匠として、日本建築の普遍性を尊びながらもモダニズムの理念を重んじ、現代社会に適応した建物を造りました。一方では優れた研究者としても活躍し、茶や千利休、茶室、庭についての研究成果を残しています。氏と湯河原とは万葉公園の設立の提案、湯河原中学校の校歌を作詞するなどの縁も深く、同じく湯河原に縁深い国文学者・佐佐木信綱(ささき・のぶつな)の紹介により、万葉公園内「万葉亭」と「万葉館」の設計を手がけました。

3. 茶室「万葉亭」の歴史的背景

・万葉公園との歴史的な繋がり

堀口捨己は、万葉集の歌「はたすゝき尾花逆葺き黒木もて、造れる室は万代までも(元上上皇)」から、草葺きで皮付き柱の家として、茶室「万葉亭」を設計しました。惜しまれながら解体された「万葉館」が現存しないことから、万葉公園の来歴に因んだ、現存する最後の歴史的建築物といえます。

・茶室建築としての専門家の評価

「万葉亭」が設計された1954年当時、人々の生活が西洋化されていく中、座式と椅子式を併用した茶室が模索されていました。堀口捨己はこの模索について、「『万葉亭』を東屋風茶屋とする」という形で表現しています。茶室とは一般的に屋内空間ですが、万葉亭は野点の席(屋外茶席)の仮設的な芸術性をそのままに、屋根をかけ、炉を設けた半屋外的な茶室としたのでした。これにより、原始的な住まいのようなあり方の中で、東屋と土間は腰掛けのある椅子式である一方、八畳間は座式であり、どちらでも茶を飲むことができるようになっています。

つまり「万葉亭」は、住空間と茶室空間の融合をも念頭に置いた、よりおらかな、より生活になじむ茶室を目指した貴重な建築物といえます。

4. 劣化状況

令和4年現在、「万葉亭」は築67年を数えています。平成24年には保全のため、垂木の挿入、柱の樹皮移植やコンクリート擬木化、虫食い部分の樹脂詰めによる補修、屋根の葺き替えなどの改修が行われました。しかし現在も、柱の皮剥けや虫食い、土壁の剥離や割れ、茅葺き屋根の茅がほぼなくなっているなど、著しい劣化が見られる状態です。今回、万葉公園の全体構想やかつての万葉館の写真などが掲載されたパンフレットをお配りしましたので、そちらも併せてご覧いただき、「万葉亭」の歴史的価値と現状についての理解を深めていただければと思います。

本日はありがとうございました。

(文・編集:石川浩子(1月会報担当)／クラブ会報委員会)